

『萬葉集物語』の読者の方々より、あたたかい御言葉の感想が届きました。

(長年にわたり届いたお葉書ですので、先生がご存命の時のもございます)

○前書きにも書いてありますが、この本の初版は昭和15年です。昭和16年のクリスマスに当時小学校4年生だった私は父から買って貰ひ、世の中に、こんな面白い「本の世界」があるのかと夢中になって読みました。

私はこの本で、お暇でもない科学読物でもない学問の本があることを知って、大人の「知」の世界に憧れました。このほど、朝日新聞の広告で再度の復刊の事を知り、早速購入、一晩で読了しました。本当に懐かしい友人に又会った喜びです。著者の森岡美子先生がまだご健在と聞き、自分の大事な親族の消息を聞いた嬉しさを感じております。どうぞお元気で末長く過ごされます様お祈り申し上げます。

○萬葉集を最初から学ぼうと思い立ってこの本を買いました。

活字が大きいし、初心者向きで読みやすいと思います。購入をそそる様な装丁ですね。この本に執着します。

○平岩弓枝さんが子どもの頃より親しんだ本であるということを知りました。それで、興味を持ちました。

六十の手習。まさに私にぴったりの本を見つけたと思います。万葉仮名の話も楽しく読ませてもらいました。

○奈良大仏の古寺、古道、仏像などを訪ねること度々あり、万葉の世界を知る機会がありました。幾つかの歌を知っていましたが、改めて美しさ、その背景を知る機会にと思い高齢ながら購入しました。

流れるようなリズム、心が洗われるような歌、万葉人の姿さえ脳裏に浮かぶ数々の文章、とても素晴らしい本です。改めて奈良にスケッチに出掛けたいと思っています。文章の間に大和の風景など入れれば更に想像が広がると思います。

○初めて手にしてページをめくるたびに美しい日本語と本当に適切な解説に心深く感じる場所があります。森岡先生が95歳でいらっしゃり今も御元気に素晴らしいあとがきを書いていらっしゃるのを拝見し感激。貴社がよく再び人の手に渡れるよう御努力されたこと

を嬉しく奇跡のように思い感謝申し上げます。

○私が初めて萬葉集関係の本を買ったのは齊藤茂吉さんの「万葉秀歌」（半世紀以上も前ですが）それから岩波文庫の「万葉集」を買い、2004年に中西進さんの「万葉秀歌選」（1～3）を求め2005年に講談社文庫の中西進さんの「万葉集（全訳注原文付き）」1～4別巻を買いました。そして、ある日の読売新聞の広告欄に「170余の歌を取り上げ、純粹で朗らかな万葉の心を再現した」とあるのが目に留まりました。それで近くの書店に頼んで取り寄せてもらった次第です。これからゆっくりと森岡先生の「おだやかな言葉」を味あわせて頂きます。

○きちんと学んだことがないため、歌の背景も作者のことも不知で、ただ筆を歩ませて居りました。視力も落ちているため夜間は読むこともおぼつかずの状態ですが、森岡美子先生の分かり易い解説に安心しながら、少しずつ読み進めて居ります。説明文の丁寧な表現も私の理解を助けてくれているようです。本の帯に「かつてこんなに美しい日本語がつかわれていた時代がありました。今やっと5分の3です。」有難うございました。

○本書のような真に価値あるものに着目して出版し、さらに長年月の後に内容を確認して、版を新たにされる御社の考え方に敬意を感じます。内容は素晴らしいです。

○貴社の本にはそれなりの定評があり、よく読んでいます。本書も内容豊富で読み応えあり、手元に置き、読み直したい本です。

○昭和15年12月12日初版壱円九拾銭。女学校2年生の時、長野飯山にあった牧野書店で求めました。爾来、70年弱、結婚、転勤、後浜松住、関西では交通の便が良く、奈良に度々行きました。あまりに長く戦時中の紙は茶っぽく、私の喜寿（77歳）の時にあまりのボロボロさにかわいそうで、鎌倉の豊御に万葉集を書いた枕草子と共に写真を撮って本と別れました。一部は、切りはずして保存し、表紙、扉、海ゆかばの歌、そして当時の学習院長の森鷗外の伯父様の推薦文がありました。この度の御書を朝日新聞で拝見し、今なお愛読しております。戦時下とは異なり万葉集の短歌をして当時から長い事育児の忙しい時も心のうるおいをもちながら大切にしてきました。83歳余。お棺に入れてもらう様にします。内容の語り口がむかし関口大町尋常小学校当時の言葉遣いを思い出させます。女子のしつ

けはとてもきちんとして居ました。昭和27年?の年は発行されたのを知りません。古屋文明さんの『萬葉集小径』と一緒にあっておりました。そこに「萬葉のいのちは流れである」という事(昭和8、5、28)に求めたもの。やはり永遠の愛読書。本当に嬉しい限りでございます。

○美しい日本語ですね。久しく聞くことがありませんでした。

万葉集関係の本は数多くありますが、皇族方と呼ば捨てにするなどの記述が多く、読んでいても心が穏やかになりません。しかし、この本は全編愛情あふれる敬体で書かれています。読後はすがすがしく感じました。今後もこういう本を出版してください。

○歌は無論のこと、目次に有る通り萬葉の時代を多方面に渡って優しくぶん判かり易く解説してあり、写真や図面(万葉辞典)等、大変参考になった。姪の娘(中学2年生)にプレゼントした。装丁も大変良かった。

○若い頃、萬葉集の読書の会に出席したが、萬葉仮名の意味、解釈が古人の人達の歌から、生活まで勉強したが内容が難しく、また当時の料理を復元できると説明があった事に関心をもっていました。

この本で萬葉集の編集の目的や日常生活が解ってきた事が良い勉強になりました。

教師時代は3年担当すると修学旅行に京都奈良へ行き、萬葉時代の建物など古人の人は現在では考えられないことで建築した事を知りました。五重塔が地震に強い理由など建築方式が解りました。地盤を固める為に女の人達が話ながら棒で地面をつき空気を抜き取りながら過ごした事も本で分かりました。

○図書館で借りて読み、とても良いと思い自分で持ちたいと思ったので購入しました。

1952年発行ですが、新たに2008年に改訂版として発行していただけてとても嬉しいです。萬葉集について丁寧な言葉で読み易い。大変分かり易く書かれていて、萬葉集を学び始めた者にとって辞書的な感じでいつも手にとって読めて良いです。特に各巻の話が分かり易く、索引としても万葉秀歌撰としても見やすく便利です。万葉集を歴史、外交・・・と、万葉時代全体をとらえやすくその中での万葉歌についての話なので万葉集の流れ、全体像がとてもよく分かって、また、後世の短歌を学ぶ者にも大変参考になります。嬉しいです。

○朝日新聞広告を見て、分かりやすそうだったので、本屋にて購入しました。  
内容印刷造本は満足しています。読み始めましたが、少しずつでも読み上げようと思っています。ずっと繰り返して読めるような本を出版してもらいたいです。定価は高くても構いません。

○小学六年生の時に買って貰った金蘭社版を持っています。著者のお名前と装丁の鳥と鹿の絵に記憶があり手に取りました。  
昔と同じ物語調で書かれていて、美しい言葉で嬉しくなります。短歌を楽しむ身には、大きな喜びです。長い間、ご研究なさっておいでの先生と知り、感動いたしました。  
このような読者のあることをどうぞお伝えくださいませ。ご健康をお祈り申し上げます。